

## ブルグ劇場 (1937)

BURG THEATER

メディア 映画

ジャンル ドラマ ロマン스

製作国 オーストリア

色彩 B&amp;W

時間 123分

初公開日 1939/09

公開情報 劇場公開

## 【解説】

「未成交響楽」「たそがれの維納（ウィーン）」で知られるW・フォルストの代表作。18世紀に建てられた演劇の殿堂、ウィーン国立ブルグ劇場。この作品は、ここで19世紀末に活躍した名優フリードリヒ・ミッテルヴァルツァー（映画ではミッテラー）が社交界嫌いで、彼の私生活が全く知られていないことにヒントを得て作られた。

名声が有りながら社交界嫌いで孤独な老優は、美しく純真な娘に出会い、年甲斐もなく恋心を抱く。だが彼女には、好きな俳優志望の青年がいた。それを知った彼が、二人の仲を取り持ってやるといったストーリー。これにミッテラーを社交界に引っ張り出そうとする男爵婦人が絡み、古き良き時代の美しい古都ウィーンを舞台に、情緒あふれる物語が繰り広げられる。「カリガリ博士」で知られる出演のW・クラウスは、第2次大戦後ブルグ劇場でも活躍した名優で、本作では「嘆きの天使」のように老いくの恋に迷って惨めな醜態をさらすのではなく、年甲斐のない恋に迷いながらも自分の老いを悟っていく老優を、風格を持って演じている。また、老名優と青年の関係は、劇中演じられる『ファウスト』との微妙な二重構造を思わせる。巧みな語り口で、トーキー以後の戦前オーストリア映画の芸術性の高さを示している。

## 【クレジット】

監督	ヴィリ・フォルスト	Willi Forst
脚本	ヨッヘン・フート	
	ヴィリ・フォルスト	Willi Forst
撮影	テオドール・パール	Theodore Pahle
音楽	ペイター・クロイダー	Peter Kreuder
出演	ヴェルナー・クラウス	Werner Krauss
	オルガ・チェホワ	Olga Tschechowa
	ホルテンセ・ラキー	
	ヴィリ・アイヒベルガー	
	ハンス・モーゼル	
	フランツ・ヘルテリッヒ	
	カール・ギュンター	
	オットー・ウィルヘルム・フィッシャー	Otto Wilhelm Fisher